

「はこだてトリエンナーレ みなみ北海道を旅する芸術祭」について

「はこだてトリエンナーレ みなみ北海道を旅する芸術祭」は、2009年に函館開港150周年を記念し開催した「アートフェス ハコトリ」を受け継ぎ、「旅」をテーマとして、2019年6月28日から7月21日まで、初夏の函館と道南いさりび鉄道沿線を舞台に開催した芸術祭です。（キハ40車内など一部展示は、好評につき9月1日まで展示期間を延長しました。）

会場は、当社沿線の函館市、北斗市及び木古内町の3市町に跨がり、古い建物のギャラリーやカフェ、道南いさりび鉄道の車両内や駅など、旅をしながら楽しめる場所を選びました。

また作家も、地元出身者に加え、旅する作家やテーマ・素材が「みなみ北海道」に縁があるなど、旅をテーマに多くのアーティストたちが参加しました。ジャンルやキャリアが異なる作家たちが織りなす個性的な作品が、この芸術祭を大いに盛り上げてくれました。

当社では、この芸術祭に企画段階から参画し、開催にあたって、キハ40車両内展示及び清川口・上磯・渡島当別の各駅展示に会場の提供を行うなど、全面的に協力しました。

また本芸術祭を、地域の様々な価値、地元で活躍する人たちに焦点を当て、地域の付加価値向上や未来への発展可能性を探る活動と位置付け、このような活動を今後も積極的に参加・支援していきたいと考えています。

今回の取り組みは、鉄道の魅力を発揮した、地域の活性化に貢献する内容であることから、当社が、本芸術祭を主催する旅する芸術祭実行委員会・hakodate+との3者連名で「第18回日本鉄道賞」に応募いたしました。



はこだてトリエンナーレ 舞台は道南いさりび鉄道 沿線



道南いさりび鉄道 キハ40車内絵画展示



渡島当別駅内 絵画展示



上磯駅待合室 インスタレーション



漁り火オブジェ インスタレーション

※はこだてトリエンナーレ公式ホームページ：<https://shinhakodate.com/2019/>